

平成 28 年 11 月 9 日

ICSICT2016 参加報告書

群馬大学 大学院理工学府
理工学専攻 電子情報・数理プログラム
小林研究室 博士前期課程 1 年
田村 善郎

1. 国際会議名称

2016 IEEE 13th International Conference on Solid-State and Integrated Circuit Technology (ICSICT 2016)

<http://www.icsict.com/>

2. 開催場所

White Horse Lake Hotel, Hangzhou China

3. 開催日時

2016 年 10 月 25 日 – 10 月 28 日 (4 日間)



4. 発表題目

“RC Polyphase Filter As Complex Analog Hilbert Filter”

Yoshiro Tamura, Ryo Sekiyama, Koji Asami,
Haruo Kobayashi



5. 報告・感想

ICSICT は IEEE が主催する半導体集積回路技術を扱う国際会議であり、今年で 30 周年を迎えた。中国を中心に、アメリカ、台湾、韓国、カナダ等の大学から参加者が集まり、本会議の一般論文投稿件数は 710 件、採択件数は 397 件、招待論文投稿件数は 136 件と大規模なものとなった。

私は 10 月 28 日 14:00 から S63 Analog Circuit IV セッションにて 15 分間の口頭発表を行った。慣れない英語での発表は非常に緊張したが、なんとか終わることができた。自身の語学力の未熟さを痛感したが、大変良い刺激になり今後の英語学習への大きなモチベーションとなった。

口頭発表件数 313 件、ポスター発表件数 212 件と非常に多く、限定的に観て回ることしかできなかったが、様々な大学や企業の研究発表を聴講することで国外における研究

動向を知ることができ、有意義な時間を過ごせた。積極的に質問や議論を行い、物怖じせず自分の意見を言う度胸など、国内とは異なった雰囲気での研究に対する姿勢や態度を学ぶことができた。

6. 観光中の主な出来事と感想

・中国美容室にチャレンジ

シャンプー+カット 25 元。カタログもあったらしいが、言葉が通じないのでジェスチャーで適当に髪型を伝えて後はお任せ。コストパフォーマンスが良いのでおすすめ。



・美味なご飯たちに感謝

滞在中の食事はホテル 8 割、飲食店とおやつ 2 割であった。肉、野菜、魚、その他もろもろの料理はどれもはずれがなく、非常に満足している。帰国してから体重計に乗ったら 3kg 太っていたほどである。たまに激辛料理が混ざっているが、どちらにせよおいしいので気にせず食べてかまわない。



・中国の交通事情

道路では常に車線変更バトルが繰り広げられている。クラクションは挨拶代わりに。信号や速度はしっかり守るので教習所ではどうなっているのか非常に気になる。道路では残り時間カウント機能付き信号や 2 輪車専用レーン、鉄道ではアクリル?の壁など個人的

に日本にも取り入れて欲しいところがあり、少し羨ましく思った。



・星光大道（にぎやかな歩行街）をぶらり

ゲームセンターでクレーンゲームに挑戦。意外にアームはしっかりつかんでくれるので、上手くいけば取れるはず（私は収穫なし）。中国ではコインを使わず、カードに電子マネーをチャージする方式が主流らしく、連続プレイが捗る。ストリートライブを見ていたら、近くにいた3歳くらいの子供が踊り始めてコラボレーションするという和む場面もあった。



7. おわりに

今回 ICSICT に参加できたことは自分の中で良い経験となりました。この期間中に感じたことや学んだことを忘れずに今後とも精進したいと思います。

最後に、このような貴重な機会をくださいました小林先生、研究や発表について指導してくださいました浅見先生、旅の支援をしていただいた石川技官に心より感謝いたします。ありがとうございました。